



呼聲

第10号

発行 上田高女・染谷丘高校東京同窓会事務局

〒134 東京都江戸川区中葛西3-9-11-506
TEL 03-3688-6591

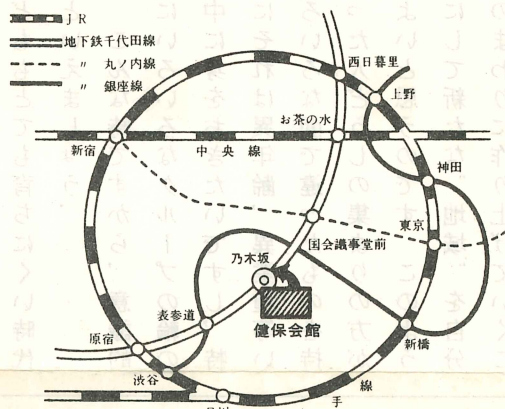
平成七年度総会のご案内

春たけなわの今日この頃、会員の皆様方がお過ごしでしょうか。今年もまた総会のご案内をさしあげる時期となりました。左記により本年の総会を開催いたしますのでご案内いたします。

記

期 日 平成七年六月十日(土)
 受付開始 午前十一時三十分
 開 会 正 午
 閉 会 午後三時
 会 場 はあといん乃木坂(健保会館)
 港区南青山一―二四―四
 地下鉄 千代田線 乃木坂駅 うえ
 電 話 〇三―三四〇三―〇五三一
 会 費 金八千円也(年度会費金壹千円を含む)
 付 記 同封の振込用紙でお振り込みください

健保会館案内図(地下鉄)



千代田線	国会議事堂前	丸の内線	東京
5分		6分	
千代田線	明治神宮前	JR山手線	新宿池袋
5分		7分~15分	
千代田線	表参道	銀座線	渋谷
3分		3分	
千代田線	西日暮里	JR山手線	上野
20分		10分	

健保会館 (千代田線 乃木坂駅)

やや汗ばみを覚えるもの、穏やかな日和の五月二十九日(日)、平成六年度の東京同窓会総会が、JR大宮駅西口・大宮そごう十二階バンケットルームで開催されました。従来とは異なり、今回は受付開始が午後四時半、加えてカラオケタイムを設けるという初試みをしました。「マイクを手に歌ってくださいるかしら?」

総会日より

若やぎのひととき

高校12回 青木宣江



気が滅入りました。さて、当日です。ご臨席いただいた小出校長先生から母校の近況をお聞きし、上田・千曲両校のご来賓よりご挨拶を賜って、式次第も第一部から第二部懇親会へと順調に進行、バイキングスタイルのご馳走を賞味しながらしばし再会を喜び合う談笑が続きました。

カラオケセットから懐かしい童謡を始め、ラジオ・テレビで覚えた歌謡曲やシャンソンなどの音楽が流れ始めました。曲目は次々に変わります。と、どうでしょう。その都度『歌手』の誕生なのです。そうこうするうちにステップも軽やかにダンスが飛び出しました。何と芸達者揃いなのでしょう。私の懸念は露にも満ちた。

たぬ無用のものでした。会員皆様の隠れた豊かな才能は盛大に展開し、もし、会場使用に時間の制限がなければ、このパーティーはまだ何時間も続きそうに感じられました。飲んで食って歌った後は、少し身体を動かした方がよい、と『東京音頭』を踊ることになりました。リーダーの手振りを見ながら手足を動かすも突然のことでは、各人ばらばらでした。が、会場を一周する頃には全員所作も見事に決まり、「踊りは一寸・」



「もし誰も歌ってくれなかったら・・・?」
 「その時は役員が何とかしましょう・・・」――順番が廻って来たら、どうしよう――。日頃、カラオケに無縁の私は当日が近付くにつれて、少々

巷には、暗いニュースがいろいろと飛びかい、びっくりしたり悲しんだりの日々でしたが、水無月の一日を故郷の思いや語らいに花を咲かせ、旧交をあたためる一日とするため、皆様お誘い合わせのうえご出席くださいませ。お待ちいたしております。

ひよんなことから東京同窓会の役員をひきうけてから何年かたつてしまいました。子どもの小学校・中学校で通算4年ほど役員を続け、そして今、下の娘の高校でもお手伝いさせていただいています。仕事をもちながらの役員生活です。でたいした役はできずにおりますが、それでもたくさんの方々と知り合いになれたことは何よりの財産と思います。

さて、昨年の暮れは、中学生のいじめの自殺で学校現場は大変だったようです。大人も子どももお互いの心がみえにくい世の中のシステムになつてしまったことも一つの原因かと思ひます。

昔は、大人だったらお茶のみや井戸端会議、寄合ひ等の中で相談相手もいたことでしょうし、地域ぐるみで問題に対処もできました。子どもならば、『人の輪』の中で高20回 秋葉由美子

心豊かに生きられるのも、自殺したいほど苦しい思いをするのも、その原因は、自分のまわりにいる何人かの人々との関係によるものだと思います。そして良い人間関係を築きあげてゆくことは、決して言葉で教えられるものではなく、経験の中で体得するものであることを考えれば、集団、特に異年齢の集団が不可欠なのですが、地域社会が崩壊して久しい今は大人も子どももとても育ちにくい時代といえましよう。

こんな時ですから、意識的にいろいろなグループの輪の中に身をおきたいですし、特にそれは異年齢、異業種等いろいろな面で違ったものを持つた人どうしの集まりの方がよいと思うのです。このようにして新たな“地域”を自分のまわりに作り上げていくことこそ長い人生を豊かに生きるコツではないかと考えるこの頃です。

『人の輪』を求めて

上田高女・染谷丘高等学校東京同窓会を一步外に出て周囲を見回すと、いろいろな人の輪があることに気づきます。その中で、上田・東信・長野県といった私どもの故郷に関わりのある『あつまり』を、少しご紹介しましょう。

収支計算書(平成6年4月1日~7年3月31日)

収入の部		支出の部	
項目	6年度決算額	項目	6年度決算額
前年度繰越金	319,924	総渉通印会事務	417,127
年会費	553,100	会外信刷	15,000
会費補助	315,000	用品	68,130
利息	60,000	費	7,210
	5,000	費	4,000
	8,831	費	13,200
		費	22,727
		費	44,920
		費	40,000
		費	29,850
		小計	662,164
		次年度繰越金	599,691
合計	1,261,855	合計	1,261,855

『人の輪』を求めて

上田高女・染谷丘高等学校東京同窓会を一步外に出て周囲を見回すと、いろいろな人の輪があることに気づきます。その中で、上田・東信・長野県といった私どもの故郷に関わりのある『あつまり』を、少しご紹介しましょう。

松尾俱樂部は、上田高校出身の紳士・淑女(正会員)よりなる任意団体。48期(昭和25年)の有志で始まった勉強会が、他期の人も参加できる上田経済問題懇談会へと発展、昭和61年(一九八六年)には、『松尾俱樂部』として組織を整え、名実共に上田文化人の集う場となりました。活動内容は、各種講演会、研究会、見学会等多岐にわたり、その質の高さにも定評があります。正会員の推薦があれば、上田高校出身者でなくても会員になれる(特別会員)点、外部の者にとってたいへん魅力的な存在といえましよう。現在の会員数(正・特別とも)は四一七名です。

今回、たまたま『人の輪』の中で」と題した原稿が寄せられたのを機に、同窓会活動から広がっていく人の輪を探ってみました。お好みに合わせてご利用ください。お喜びが、また一つお楽しみが増えるかと思ひます。

編集後記

